



れんごう ふくおか

No. 300

RENGO FUKUOKA

2015年8月10日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人：西村芳樹 編集人：上野茂伸
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

安倍政権の暴走を止めよう!



安倍政権の暴走阻止を訴える高島会長

2014年11月、安倍政権は突然解散に打って出ました。安倍首相は「アベノミクス」を前に進めるか止めるかを、争点とする選挙だと宣言しました。結果、与党は過半数を大きく超える325議席を獲得し、民主党は11議席を増やし73議席となりました。

私たち連合は「STOP THE格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンと選挙運動を連動しながら、安倍政権の労働者を踏み台にした政策を許すことができないと世論に訴えてきましたが、大きく世論を動かすことは出来ませんでした。

安倍政権はこの衆議院選挙の結果を国民からの負託を得たと勝手に判断し、労働法制の改悪や年金積立金の運用の見直し等、働く者を踏

み台にした成長戦略を推し進めてきました。

特に労働者派遣法の改悪は、生涯派遣で低賃金となる働き方を子供たちの時代に残すことになる、経営者の側に立った規制緩和で許されないものです。同時に、安全保障法制においては、昨年7月に行った集団的自衛権の行使を認めた閣議決定を一步進める形で、平和安全法制整備法を国会に上程し、国民を無視した形で議論を進め7月16日に衆議院で強行採決を行いました。

私たち連合は「国民軽視の進め方になってはならない」「国民の懸念にこたえていない」と主張し民主党と連携をとりながら国民世論に訴えてきました。

今、安倍政権が進めようとしている政策はどれをとっても、私たち生活弱者が犠牲になる政策ばかりで、ますます格差が拡大する社会に突き進んでいます。

今こそ、全ての労働者が一丸となり、世論喚起を行い安倍政権の暴走を止めよう!

来年7月の闘いに向け、各組織において組織強化を図ろう!



演説に聞き入る人（天神イムズ前）

ついでと 告意～問

膝栗毛、風呂敷、ねっと、なんだか解りますか？
そうです。このコラム欄のタイトルです。

- 最初のコラムは
- ・「膝栗毛」39号（1993年1月号）よりコラム欄スタート
「膝を馬（栗毛）の代わりにして旅をする事、徒歩で旅行すること」と辞書には載ってましたが、なぜこのタイトルを使ったかは不明です。
- ・「風呂敷」90号（1996年11月号）より
丸いもの、角のあるもの、長いものを自在に包み込む。大風呂敷はダメという記述が「風呂敷」初号には説明されていました。

- ・「ねっと」139号（2001年2月号）より
このタイトルに決まった説明はありません。この時代の役員で誰が、今のこのネット社会を予想したか？
さあ、今回で記念すべき300号です。このコラム欄もリニューアルしなくては
- ★「告意～問（ついで）」
今、流行りの「つぶやき」を漢字にしてみました。
自分の意見を告げる（言う）、問いかけるといった意味です。
約1年に1回このコラム欄の執筆当番が内局役員に回ってきます。
内局役員の皆さんフォロワーを増やしてね!

連 合 福 岡

2015年度「政策・制度」要求を決定!

2015年度の「政策・制度」要求策定にあたって、本年3月に福岡県から示された「2014年度政策・制度要求」の回答を『労働・教育委員会』『医療・地域活性化委員会』『環境・安全委員会』の各委員会（4月から6月中旬までの間、委員会を開催）で検証・評価を行うとともに、2015年度要求原案の検討ならびに要求策定に向けての現地視察を実施してきました。

また、具体的な要求内容の検討にあたっては、今年度の要求は2014・2015年度の2年スパンで要求実現を目指していることから、2014年度の内容や「2016年度 連合の重点政策（2015年7月から2016年6月までの1年間で実現を目指す重要度の高いもの）」を踏まえながら検討を行ってきました。



労働教育委員会 近藤副委員長（日教組・高教組）

各委員会での回答内容に対する評価と2015年度の要求原案の検討内容等については、第7回政策委員会（2015.06.16）において取りまとめ、政策委員会として「2015年度政策・制度要求（原案）」を確認し、その結果を連合福岡第22回執行委員会（2015.06.26）に諮り、連合福岡構成組織や福退連等からの要求原案に対する意見集約を行いました。



熱心に聞き入る参加者

要 求 項 目

I 労働・教育	
<労働> 1. 雇用創出・拡大と労働対策の強化 2. 公契約条例の制定 3. ワーク・ライフ・バランス社会の早期実現	<教育> 1. 質の高い教育と誰もが安心して学べる教育環境整備の強化 2. 労働教育の推進 3. 教職員の職場環境の改善 4. スクールソーシャルワーカー（SSW）の拡充 5. 教育の機会均等に向けた教育費の負担軽減 6. 特別支援学校の充実 7. 政治教育等の推進
II 医療・地域活性化	
<医療> 1. 福岡県医療費適正化計画（第2期）等の推進 2. 医師の確保ならびに地域偏在の解消対策 3. 看護職員の確保と離職防止 4. 介護職員の処遇改善	<地域活性化> 1. 街づくりと一体となった公共交通の再編・強化 2. 観光政策の強化 3. 渋滞緩和に向けた対応強化 4. 自動車関係諸税の軽減・簡素化に向けて
III 環境・安全	
<環境> 1. 再生可能エネルギー政策の推進および周知・広報の充実 2. 水素エネルギー利用社会の実現に向けて 3. 大気汚染に関する対策と安心確保	<安全> 1. 防災・減災強化と自然災害に強いまちづくり 2. 食の安全・安心確保 3. 飲酒運転撲滅に向けた取り組みと違法薬物等への対応 4. 高齢者運転免許証自主返納サポート制度の導入推進 5. 自転車交通事故防止および違法駐輪対策の強化 6. DV被害者・性犯罪に関する対応



医療地域活性化委員会 緒方委員長（私鉄総連）

そして、7月17日に「連合福岡2015年度政策・制度セミナー」を開催（関係諸団体を含め180名参加）し、改めて、3専門委員会から議論経過や要求内容の説明を行い、要求に対する認識統一を図ることができました。また、本セミナーでは、福岡県副知事の大曲昭恵氏から県民幸福度日本一をめざした主要政策の実行状況について、さらに、同志社大学教授の浜矩子氏から安倍政権の真相をどう捉えて、私達はどの様に立振舞うかといった視点で、講演をいただき今後の運動に際しての現状と課題を共有化することができました。



環境安全委員会 先川委員長（電力総連）

こうした議論経過を踏まえ、連合福岡第23回執行委員会（2015.07.28）で、6分野27項目からなる『2015年度政策・制度要求』を最終確認し、8月12日（水）に小川福岡県知事へ要求書を提出しました。連合福岡としては、引き続き、働くことを軸とする安心社会をめざし、政策・制度要求の実現に向け積極的に取り組みを展開していきます。

第2回 欧州視察研修

2回目となる「連合福岡欧州視察研修」は、7月4日からデンマーク、オランダを訪問し無事帰国しました。訪問団は、高島連合福岡会長を団長に15名、現地では、両国の大使館と、オランダ労働組合連盟（FNV）を訪問、加えてデンマーク雇用省に勤務する方からのレクチャーを受けています。以下、皆さんの報告を一部引用し記載します。

デンマークは貿易依存度が高く、農業国としての伝統は古いが、輸出品では工業製品が7割以上を占めるようです。また、雇用と解雇が比較的容易に行われており、生涯平均6・7回の転職があるとのこと。ここだけ聞くと驚きですが、失業から再就職までのシステムに日本との大きな違いがあるようで、私達が求める政策にも参考になりそうです。

FNVは、より良い労働条件のパートタイム労働を求めること、すなわち、家庭と職場における平等な分業体制を求めてパートタイム労働という働き方、形態を受け入れ、労働条件の改善を労働組合方針として進めているとの説明もなされています。

この視察研修の充実した時間を、この紙面では報告しきれません。参加された皆さんからは感想文を提出いただいています。近く冊子にして各構成組織にお送りしますので、是非、頁をお開き下さい。



デンマーク大使館にてレクチャーを受けるメンバー



オランダ労働組合連盟（FNV）事務所前にて

連合福岡 交通・運輸部門連絡会結成



<山田 代表幹事>

7月23日（木）、連合福岡で3つ目の部門連絡会（金属部門・官公部門連絡会）となる「交通・運輸部門連絡会」が結成されました。本連絡会は、本年4月に「交通・運輸部門連絡会 結成準備会」を立ち上げ、会の運営要綱や基本的な活動内容等について検討が行われ、連合福岡を構成する交通・運輸部門間の連携強化および情報交換、ならびにヒト・モノの移動および大規模災害時への対応等に関してまちづくりの視点において広く県民と共有し、連合福岡の活動の推進にあたることを目的として結成されました。

◇ 第1期役員紹介 ◇

役職	氏名	産別
代表幹事	山田 英樹	運輸労連
副代表幹事	小林 一美	J P 労組
〃	緒方 勝則	私鉄総連
事務局長	久保田 耕二	J R 連合
副事務局長	下村 浩一	自治労
幹事	田上 信吾	航空連合
〃	今里 雄二	交通労連
〃	牟田 慎一	J R 総連
〃	本村 昌巳	サービス連合



2015年度地域別最低賃金額改定の目安に関する神津事務局長談話 (要旨)

1. 中央最低賃金審議会目安に関する小委員会は、2015年度地域別最低賃金の目安について、現行制度のもとでは過去最大となる、全国加重平均18円(2.31%)の引き上げをとりまとめ、7月30日の中央最低賃金審議会に報告した。ランク区分ごとの目安額は、Aランク19円、Bランク18円、Cランク16円、Dランク16円である。ランク間格差の拡大に歯止めがかかったことは評価できるものの、最低賃金水準のあり方についての議論に至らなかったことは残念である。
2. 使用者側は、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営状況の厳しさを強調し、過去5年の最低賃金引き上げは中小企業の支払い能力を超えた大幅かつ急激な引き上げであること。その結果、影響率が上昇傾向にあり最低賃金の引き上げが企業経営に与えるインパクトが年々強まっていることなどを主張した。また、目安額の検討にあたっては平成27年賃金改定状況調査結果(第4表)を尊重するべきとの考えを示した。
3. 対し労働者側は、経済環境・雇用環境から昨年を上回る目安額を示すことは当然であり、物価上昇分を確保し、実質賃金を維持したうえで、2015春季生活闘争における賃上げ実績を加味すべきと主張した。また、経済の好循環確立のためには最低賃金の大幅な引き上げが必要であること、生活を営むことのできる水準への引き上げが必要であること、すべての道府県で800円に到達する道筋をつけることなどを主張した。
4. 連合は、本目安金額決定の議論経過を十分に踏まえた地方最低賃金審議会での審議を求めていく。また課題の「目安審議のあり方」「ランクのあり方」については、今秋以降再開される予定の「目安制度に関する全員協議会」の中で結論を得るべく、今後の審議に臨んでいく。

SCHEDULE これからの主な日程

- 8月12日▶2015年度連合福岡政策・制度要求の県知事提出
 19日▶連合福岡第2回欧州視察研修総括会議
 20日▶第5回中小共闘センター幹事会(第12回中小労働委員会) 部落解放共闘福岡県民会議「人権学習会」
 23日▶「労働者保護ルール改悪阻止等」街宣行動(小倉)
 25日▶四役会議・第4次組織ビジョン検討委員会
 26日▶第4回組織拡大推進委員会
 28日▶第15期役員推薦委員会 第24回執行委員会 連合福岡ヤングカーニバルin沖縄「班長会議」
- 9月11日▶「労働者保護ルール改悪阻止等」街宣行動(天神)
 24日▶金属部門連絡会 第36回幹事会
 25日▶四役会議・第4次組織ビジョン検討委員会
 28日▶第25回執行委員会

連合福岡主催 ほんでも法律相談

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・労福協に電話で予約して下さい。
 10時～17時(土日祝日を除く)

エリア	9月	10月	エリア	9月	10月
福岡	8日(火)	13日(火)	遠賀川	25日(金)	30日(金)
	29日(火)	27日(火)			
筑紫・朝倉	1日(火)	6日(火)	北九州	16日(水)	21日(水)
北筑後	15日(火)	20日(火)	京築・田川	2日(水)	7日(水)
南筑後	9日(水)	14日(水)			

どなたでも 他金融機関・コンビニATM ご利用手数料を

キャッシュバック!

〈ろうきん〉カードで、他金融機関^{※1}やコンビニのATMを利用した際にかかる利用手数料を、キャッシュバック^{※2}いたします。

●1回につき108円をご利用いただいた口座へ入金いたします。

※1 都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合など全国キャッシュサービス(MICS)に加盟の金融機関およびゆうちょ銀行のATM。
 ※2 他金融機関ATM・CD(共同設置ATM・CDを除く)の時間外手数料は還元対象になりません。



つかえるろうきん みんなのろうきん 九州ろうきん

ZENROSAI NEWS

火災、自然災害、盗難までワイドな保障

全労済の住まいる共済

◎火災共済 ◎自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

火災はもちろん、台風・地震など自然災害にも備えられる「住まいと家財の保障」。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済福岡県本部
 (福岡県労働者共済生活協同組合)
<http://www.zenrosai-fukuoka.coop/>

保障のことなら **全労済**
 全国労働者共済生活協同組合連合会
 4015B023

